⑶　退職給付債務及び年金資産と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

（単位：円）

積立型制度の退職給付債務	16,934,552,849
年金資産	△14,867,199,924
積立型制度の未積立退職給付債務	2,067,352,925
非積立型制度の未積立退職給付債務	13,584,968,386
小計	15,652,321,311
未認識数理計算上の差異	0
未認識過去勤務費用	0
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	0
退職給付引当金	0
前払年金費用	0
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	0

㈱　退職給付債務及び年金資産と貸借対照表に計上された負債と資産の純額との差額15,652,321,311円については、運営費交付金により財源措置がなされるため、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

⑷　退職給付に関連する損益

（単位：円）

勤務費用	1,114,615,374
利息費用	345,323,951
期待運用収益	0
数理計算上の差異の当期の費用処理額	△997,895,662
過去勤務費用の当期の費用処理額	0
臨時に支払った割増退職金	0
合計	462,043,663
厚生年金基金の代行部分返上に伴う損益（注）	△11,680,985,464

㈱　行政サービス実施コスト計算書における控除額に計上しております。

⑸　年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率（前納分を含んでおりません。）は、次のとおりであります。

債券	38％
株式	31％
生命保険会社一般勘定	21％
その他	10％
合計	100％

⑹　長期期待運用収益率の設定方法に関する記載

年金資産長期期待運用収益率は、保有している年金資産の構成、過去の運用実績、市場の動向等を考慮し決定しております。

⑺　数理計算上の計算基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率	確定給付企業年金	0.23％
	退職一時金	0.74％
長期期待運用収益率		0.00％

３．確定拠出制度

当機構の確定拠出制度への要拠出額は、52,224,609円であります。

（リース取引に関する事項）

１．オペレーティング・リース取引に係る未経過リース料は次のとおりであります。

貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料　　8,180,471円

貸借対照表日後一年を超えるリース期間に係る未経過リース料　14,589,963円

２．ファイナンス・リース取引が当期の損益に与える影響額は1,066,542円であり、当該影響額を除いた当期総利益は、1,897,459,614円であります。

（資産除去債務に関する事項）

当機構は、本部ビルについて建物賃借契約を締結しており、賃借期間終了時に原状回復する義務を有しているため、資産除去債務を計上しております。資産除去債務の見積りにあたり、使用見込期間には契約期間を用い５年間、割引率は0.529％を採用しております。

当年度末における資産除去債務残高は、276,125,850円であります。

（重要な債務負担行為）

契約に基づき翌事業年度以降に支払いを予定している債務負担行為額は、5,364,156,052円であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

高速道路の料金の額及び徴収期間の変更公告

東日本高速道路株式会社が平成18年３月31日に公告しました「高速道路の料金の額及び徴収期間の公告」の一部を下記のとおり変更しますので、道路整備特別措置法（昭和31年法律第７号）第25条第１項の規定に基づき、公告します。

平成28年９月９日

東日本高速道路株式会社
代表取締役社長　廣瀬　　博

記

別表３のうち、

「東北自動車道（川口ジャンクション・青森間）

	福島飯坂
福島西	10.0

」を

「東北自動車道（川口ジャンクション・青森間）

			福島飯坂
		福島ジャンクション接続部	4.3
	福島ジャンクション	0.5	3.8
福島西	6.2	6.7	10.0

㈱　上表において、福島ジャンクション接続部とは東北自動車道と東北中央自動車道を連続して通行する場合の、両道路の接続地点を指す。

」に改める。